



諫高だより

ふじ

藤

むらさき

紫

長崎県立諫早高等学校

〒854-0014 諫早市東小路町1番7号

TEL 0957(22)1222 FAX 0957(22)5104

http://www.isahaya-highschool.ed.jp

『諫高99年目の春、そして夏』

校長 石部 邦昭

「記念すべき年」

本校は来年に創立100周年を迎える。この1世紀の間、本校は「文武両道」を掲げ、師弟同行のもと、県下屈指の高等学校として人材を輩出してきた。その卒業生の数は、実に3万人を超え今地元は言うに及ばず、全国そして海外のいたるところでご活躍頂いている。

また、100周年と時を同じくして、本校に県下で3番目の県立中学校が誕生する。その中学校の名称も私達が希望した「長崎県立諫早高等学校附属中学校」（仮称、8月に正式決定）としていただいた。諫早高校の「志」の教育を県立中学校でも実施するとの決意が込められている。これから最後の準備を整え、来年4月、諫高に初めての中学生を迎えたいと思う。

私は99年目の今年を「記念すべき年」として、諫高の更なる飛躍を願い、生徒と教職員に熱く語った。「チーム諫高」として一枚岩での「志の教育」言い換えれば、豊かな人間教育をやっというのである。その前提になっているのが、この100年で本校が培ってきた地域の方々との信頼関係である。社会に有為な生徒の育成と希望進路の実現に向けて最善の努力をしたい。

基礎的研究を

そうした折、4月6日、本校正門横に建設が進められていたノーベル化学賞の下村脩博士（昭和20年、旧制諫早中学校卒）の銅像除幕式があった。除幕式には、博士ご夫妻に出席いただき、そのあと記念講演をしていただいた。博士は、本校2・3年生を含む満員の聴衆を前に、幼少からの生い立ちや戦争や原爆のこと、諫早高校へ進学し向学心に燃えていたのに学徒動員へ駆り出されたことなどをお話しされた。そして講演の途中でオワンクラゲ2万匹分のGFPを入れた試験管を取り出し、紫外線をあてると、くっきりとした蛍光色の光が真っ暗な中で浮かび上がった。（右写真）鮮やかな緑色で、これが「ノーベル賞の光か」と感嘆した。



オワンクラゲ GFP の光

そして、最後に「若者へ」と題して次の言葉を頂いた。「研究には基礎的研究と応用的研究がある。基礎的研究とは、判らない現象を判ろうとし、新たな知識を見いだす真理の探究。応用的研究は既知の知識の発展、進歩、応用を指し、流行を追う研究も含んだものである。世の中には応用的研究が圧倒的に多いが、皆さんには、人類の進歩や福祉に影響をもたらす基礎的研究をやって欲しい」と。

「栄光へ 汗と涙が 虹になる」

講演後、先生ご夫妻は新1年生の歓迎の拍手の中で、本校を訪問された。こうして諫高生全員と下村博士との運命の出会いが実現した。「人は出会うべき人とは必ず出会う。それも一瞬遅からず、早からず。」諫高生は出会うべき先輩と出会うべくして会った。

「諫高99年目の春、そして夏」は順調である。第62回生が「チーム諫高」の意気で挑戦した進学状況も歴史に燦然と輝く好成績であった。また、3月には、(財)日本英語検定協会から英検受験高校部門で本校が「最優秀賞」を頂いた。同月、東京大学で開かれた日本農芸化学会全国ジュニア高校生研究発表大会で、1年科学部生物班が「キッチン de ペーパーマッシュルームの研究」で「優秀賞」に輝いた。いずれも日頃の地道な努力が評価されたものである。



新入生に迎えられた博士と私

そして6月、高校スポーツの祭典「高総体」が開幕する。第62回の高総体のスローガンは、本校2年の河野献君の作品「栄光へ 汗と涙が 虹になる」に決まった。

3年間の汗と涙が報われる試合を期待したい。「いざゆけ 諫高健児！一矢入魂、一球入魂」

入学式(第65回生)

平成22年4月8日(木)、御書院の桜の花びらが舞う春の佳き日、第65回生(320名)の入学式が挙行政され、新たな「志の教育」が始まりました。



新入生代表宣誓(宇野央里依さん)



校長式辞(石部邦昭 校長)



新入生代表あいさつ(池ノ谷弘太君)



応援団のエール

式辞の中で、石部校長は新入生に対して、第1に「志を高く持って欲しい」ということ。第2に「青春の心を持ち続けて欲しい」ということ。第3に「出会いを大切にしたい」ということの3つの心構えを説きました。それに応え新入生代表が「常に感謝の心を忘れず、良識と常識ある人間に成長していきたい。」と力強くあいさつしました。

新入生宿泊研修(自木峰)



集団行動訓練の様子



食事風景



全員が集合して



五家原岳登山

期 日	4月14日(水)～16日(金)	2泊3日
場 所	国立諫早青少年自然の家	
目 的	「～真の諫高生になるために～」	
参加者	1学年生徒321名	教職員24名

遠足(2年、3年)

ようやく春めく日和となった4月16日(金)、2年生は県立総合運動公園、3年生は干拓の里へと遠足に出かけました。2年生は本明川の土手を地域清掃しながらごみを拾いながら下流に向かって歩き、クリーンセンターからは半造川沿いを遡り、約1時間半かけて到着しました。3年生は諫早小学校の前から半造橋を渡り、麦畑の中を約1時間半かけて歩きました。広々とした諫早平野にはうっすら赤みを帯びた白いハマダイコンが初夏を思わせる風に揺れ、赤いレンゲの咲き誇る田畑にはミツバチも飛び回っていました。しばし日頃の学業を忘れ、長縄跳びなどのレクリエーションで汗を流し、クラスの親睦も一層深めることができました。



自然にごみを拾い始めた2年生



激闘!大縄跳び大会



童心にかえる?3年生(干拓の里にて)

理数科対面式

4月23日(金)4校時に第2体育館で1年～3年までの理数科全員(235名)が一堂に集い、新入生を歓迎し、理数科の活動内容を説明する理数科対面式を実施しました。



理数科の先輩に挨拶する1年生代表

※本年度の理数科の主な行事

月	主 な 行 事
4月	理数科講演会Ⅰ(1、2年)
6月	県理数科高等学校課題研究発表会 ソニー研修(1年 ソニーセミコンダクタ長崎) エネルギー研修(2年 九電発電所等)
7月	理数科講演会Ⅱ(1、2年)
8月	大学研究室訪問(1年 長大、県立大等)
9月	フィールドワーク(1年 島原半島)
12月	理数科講演会Ⅱ(1、2年)

理数科講演会

日 時: 4月29日(木) 10:15～12:00
 テーマ: 「バイオマスのガス化技術の研究について - 地球温暖化と対策 -」
 講 師: 長崎総合科学大学 工学部 機械工学科 村上 信明 教授



熱心に説明に聞き入る本校生



質問する本校生と村上教授

4月29日(土)、講師に長崎総合科学大学の村上信明教授をお招きして、理数科講演会を実施しました。バイオマスという現在注目されているテーマで90分間、実にわかりやすく講演していただきました。生徒からの質問も活発で途中打ち切らざるを得ないほど、非常に有意義な講演会でした。

交通講話

日 時: 4月30日(金) 15:00～15:45
 講 師: J A F (日本自動車連盟) 長崎支部 中村和幸 先生



4月30日(金)、講師にJ A F長崎支部の中尾和幸氏をお招きして、交通講話を実施しました。事故車両に残されたドライブレコーダの画像から自動車運転手側からはどのように見えていたのかを知ることで、事故の危険性と恐ろしさを痛感するとともに日頃の自転車の乗り方や歩行マナーを見直させられる45分間でした。

全国で活躍する生徒達

織田記念国際陸上競技大会(4/29)

会場 広島広域公園陸上競技場ビッグアーチ
 西日本 Jr 男子 5000m 1位 的野 遼大
 (14分43秒97)
 3位 林 慎吾
 (14分49秒28)

日本ジュニア陸上競技選手権大会(5/2)

会場 石川県西部緑地公園陸上競技場
 ジュニア男子 1500m 1位 的野 遼大
 (3分50秒35)
 ジュニア男子 10000m 1位 林 慎吾
 (30分27秒72)
 ジュニア女子 1500m 2位 森 智香子
 (4分24秒07)

PTA総会が開催されました。

日時：5月16日 13:00～
会場：本校体育館

5月16日(日)本校体育館においてPTA総会が開かれました。会務報告や予算・決算の審議など議事はスムーズに進み、役員選出では評議委員会から提案のあった小溝忠徳新会長をはじめとする人事案が承認されました。また、これまでご苦労いただいた濱崎学前会長には校長から感謝状が贈呈され、「父の日にもらったネクタイ」のエピソードを感慨深げに紹介された退任のご挨拶は会場の皆さんの心に響くものでした。このあと、各学年PTAが開かれ、引き続き行われた学級懇談会も学級担任を囲み意見交換が活発に行われました。



濱崎前会長へ
感謝状の贈呈
お疲れ様でした!!



小溝会長ほか新役員の皆様の紹介

トピックス

ノーベル化学賞受賞者 下村 脩博士(本校卒) 銅像除幕式・記念講演会(4/6)



序幕後、銅像の前で挨拶を述べる下村博士



記念講演会(諫早文化会館)



1年生(新入生)によるお出迎え

4月6日(火)、本校卒業生(昭和20年卒業)でノーベル化学賞受賞者である下村脩博士と奥様をお迎えして銅像除幕式がありました。この像は博士の偉業を讃えるとともに、さらに後進が育っていくことを願って、諫早市民や本校同窓会などからの募金により、本市在住の馬場正邦氏(本校卒、日展会員)により制作されたもので、今後、諫高生を見守る象徴になっていくことと思います。

午後からは諫早文化会館で記念講演が行われ、一般市民と共に本校2,3年生630名が「ノーベル賞への道のり」と題された下村脩博士の話を真剣に聞き入っていました。また、講演を終え本校に戻られた下村博士を新1年生321名が盛大な拍手で出迎え、校長はじめ職員、生徒もひとときの交流を楽しみました。

おもな学校行事

6月		7月		8月	
6/1(火)	高総体壮行式	7/3(土)	同窓会総会	8/3(火)	第2回学校説明会
6/4(金)	高総体総合開会式(佐世保)	7/8(木)	クラスマッチ(～7/9)	8/4(水)	夏季特別学習終了
6/5(土)	高総体(～6/7(月))	7/10(土)	対外模試(3年～7/11)	8/5(木)	雲仙学習合宿(3年～8/11)
6/8(火)	代休(6/6分)		対外実力(1,2年)	8/9(月)	平和学習(1,2年)
6/12(土)	対外模試(3年)～6/13	7/12(月)	理数科課題研究発表会	8/12(木)	校内学習会(3年)
	ハイレベル実力(2年)	7/14(水)	三者面談(～7/16)	8/18(水)	授業日(～8/27)
	校内実力(1年)	7/21(水)	夏季特別学習開始	8/21(土)	対外模試(3年)～8/22
6/19(土)	県下一斉模試(2,3年)		学習合宿(1年～7/25)		校内実力(1,2年)
6/26(土)	第1回学校説明会	7/24(土)	対外模試(3年)～7/25	8/28(土)	土曜学習会(1,2,3年)
6/27(日)	第1回附属中学説明会	7/25(日)	ハイレベル実力(2年)	8/30(月)	代休(9/4分)